

困った時はお互い様だ、出来ることをやろう号

ブル通信

2403

能登スタイルストアご利用のはいかがでしたか？

能登半島地震の復興支援！個人の大きな負担のない支援はどうでしょうか？
能登スタイルストアというサイトがあります。能登スタイルストアで検索するとすぐに出てきます。名前のとおり、能登半島の諸々を扱っているサイトで出品者は能登半島の事業者です。当たり前ですが寄付等において支援された方もたくさんいらっしゃると思います。能登半島地震の復興支援はまだ端緒にいたばかりであり、長い継続的な復興支援が必要かと思われれます。そういった中で支援者も日々の生活があり、永遠に寄付をしていくことも現実的には難しいわけでそういつた中、日々、私どもが生活に必要なものを日常使うスーパーから能登半島スタイルを通じて購入することにより継続的な復興支援に繋がるものと考えております。

扱われているものは全て能登産のものであり、事業者は全て能登の方々です。扱い商品は海産物から始まって、農産物、お肉、麺類、お米、調味料、菓子やジャム、お酒や飲料、キッチン用品、生活雑貨、文具、コスメなど多岐に渡っており、通常私どもがスーパーで購入しているような商品のばかりです。ほぼほぼ消耗品ばかりであり、必ずどこかで買っているような商品ばかりです。

嗜好の問題もあるでしょうが、当面の間、普段スーパーで購入するものをこの能登スタイルストアで購入することにより中長期的に能登半島の復興支援を応援していくことが可能となります。もちろん現地の出荷体制が整っていないためにまだ買おうと思っても買えないものもありますが順次、出荷体制は整っていくものと思われれます。いかがでしょうか？

なお、ふるさと納税のサイトからも地域を指定して購入することも可能です。これも個人の大きな負担なく支援ができますのでいかがでしょうか？

編集発行人 ブル
ブル通信は発行人がブルドッグの様な顔をしているのでブル通信としました。

ブル通信は過去に...

ガッツのお車の
ご購入
ご売却
車検
修理
見直し
査定

の
どれかをご利用頂いた
お客様に
お送りしています。

徹底解説、今年から始まった新NISA制度とは？ たぶん知っている、よく知らないで大きな差がでるよ

新NISA、つまり今年から始まった新しい資産形成の為の制度ですね。

まああまりこういつたお金に関わる記事というのは書くことに少なからず抵抗があったんだけど知っている、知っていないで数十年のうちには資産に相当大きな差がでることが予想されるので本通信読者の皆様には少し詳しく説明させて頂きますね。まず今年から始まった新NISAの最大のメリットというのは運用した利益に対して税金が発生しないということなんです。通常、銀行の利息であれば投資信託の運用益であれば、株式の利益であれば、一律に約20%の税金が課税されてしまいます。

つまり10万円利益が出ても2万円は税金として取られてしまい手元には8万円しか残らないのが今の日本の税制となっていますがこの新NISAという制度を使うと10万円の利益はそのまま10万円の利益として得ることができるわけです。で、新NISAには2つの選択肢があるわけです。ひとつは積み立てNISAという毎月、積み立てていくタイプ。運用商品は主に投資信託ですね。

もうひとつは成長投資枠と言って株式投資で使う人もいれば投資信託で使う人もいますが一般的には投資信託を選択する人が多いようです。

これらにはそれぞれ枠があって積み立て枠は年間で120万円までは非課税で投資できます。成長投資枠は年間で240万円までは非課税で投資できます。

これらはそれぞれ別枠で使えますので合算で年間360万円までは非課税枠があるということです。それで毎年積み立てて行って積立額が1800万円になるまでは非課税で運用できるということです。1800万円になった時点で仮に500万円分を解約したとすると新たに1800万円になるまで、枠が復活するわけです。で、投資の基本というのは長期、積み立て、分散と言われているわけですがちよっと簡単にシミュレーションしてみよう。

毎月の積立額を1万円としましょう。それを投資信託で30年積み立てたとして計算してみます。投資信託の場合、利回りで5%とか7%程度のものはさほど珍しくないわけですが仮に5%とした場合30年後は積み立て元本360万、利回り分4万2千合計83万2千となるわけです。以前であれば利回り分4万2千の20%、9万4千400円が税金として取られていたわけですからいかに新NISAが有利かわかります。

仮に7%で回れば元本360万利回り分8万6千です。ですから合計1220万円の資産形成ができるわけです。ただし投資信託は元本割れの可能性もゼロではありません。そこでおススメなのがドルコスト平均法というのを使った投資のやり方です。説明します。

今、値段が1万円ちよつどの投資信託があります。1口を1万円で買います。その後暴落して5000円になつてしまつたとします。1万円分買えば2口買えたことになります。当然、購入価格の平均値は下がります。つまり毎月同じ金額をきちんと投資して行くことによりリスクをかなり小さくしていくことが出来

るという投資方法です。

わかりやすくするためにキリのいい数字で書きましたが投資信託は上がる方が下がる方が常に〇円分という買い方ができるのも魅力であり、積み立てにはかなり向くという事です。これが最初に書いた長期、積み立てという意味です。では分散はどのように考えるかというと、詰まるところ経済というのは人口です。人口が増えれば経済は上向き、逆は下向きということです。ですから人口増加により経済拡大が見込める国の組み入れをしている投資信託を選ぶのがリスクが小さくなるポイントです。一般にオルカン（オールカントリーの略）と言われておりインドなどの人口が拡大している国の運用を積極的に行っている投資信託が山のようにあります。中には1年で200%以上、つまり倍になつたような投資信託もあります。また楽天証券などでは毎月の積立をクレジットカード決済にした場合、楽天ポイントが1%というような投資信託もあります。（月間積み立て5万が上限）仮に運用益がゼロでもポイントが1%ありますから銀行預金よりはるかに利回りはいいわけです。

昔は定期性預金と普通預金とリスク性預金がそれぞれ1/3がいいとされていましたが現在のような低金利状態だと定期性預金はあまりいい運用とは言えず、それでも積み立てのうち1/3程度はリスク性積み立てでもいいのではないかと？というのが私の個人的意見です。もつとも僕のような年齢だとあまり積み立てNISAのメリットは享受しにくい年齢ですが、若い人ほどメリットは大きく知っている、知っていないだけで数年後には差が開いてくると思われるので、お金のことを記事にするのには抵抗もありましたが知っておいて損な事ではないと思い、あえて記事とさせていただきました。（実はいろいろ聞いた調べたりしてみました）